

**製品名: OCT3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80906**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC, ELISA, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000, FC 1:200-1:400
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OCT3
別名	OCT3; OCT4; OTF3; OTF4; OTF-3; Oct-3; Oct-4; MGC22487; POU5F1
遺伝子 ID	5460.0
SwissProt ID	Q01860
免疫原	ヒト Oct4 の内部から得られた合成ペプチド。

**背景**

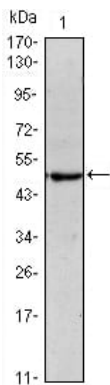
この遺伝子は、POU ホメオドメインを含む転写因子をコードしています。この転写因子は、胚発生、特に初期胚発生において役割を果たし、胚性幹細胞の多能性に不可欠です。この遺伝子とユーイング肉腫遺伝子 t(6;22)(p21;q12)の転座は、腫瘍形成に関連しています。

す。選択的スプライシングおよび選択的翻訳開始コドンの使用により、複数のアイソフォームが生成され、そのうちの1つは非AUG (CUG) 開始コドンで開始します。関連する擬似遺伝子は、1番、3番、8番、10番、12番染色体上に同定されています。(RefSeq 提供)。組織特異性: 発達中の脳で発現します。皮質、嗅球、海馬、小脳の特定の細胞層で高レベルに発現しています。成体組織では発現レベルは低いです。

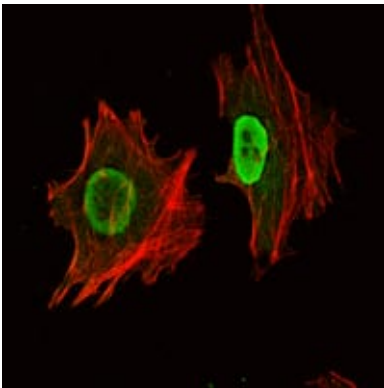
## 研究分野

-

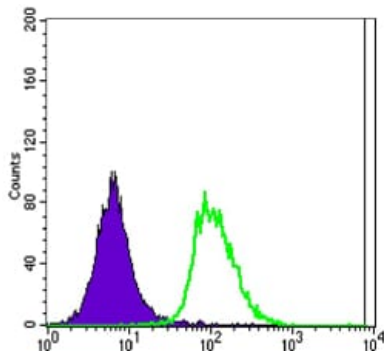
## 画像データ



Oct4 マウス mAb を用いた NTERA-2 (1) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



Oct4 マウス mAb (緑) を用いた NTERA-2 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



Oct4 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。